

# はじめにお読みください

## NYC-STI-GW

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

- 本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「ご利用上の注意」(1～4ページ)を必ずお読みください。

### 説明書と資料の構成について

文書名	形式	備考
はじめにお読みください※本書	紙	使用するうえでの安全上の「注意」・「おねがい」や、簡単な仕様などの説明をしています。
工事説明書	データ(PDF)	工事者が行う設置方法などを説明しています。
工事説明書別冊【主装置接続用】	データ(PDF)	工事者が行う電話機システム(主装置)の設定例などを説明しています。
機器接続確認資料	データ(PDF)	弊社にて、本製品との接続確認を実施した機器をお知らせする資料です。

本製品のサポート情報は、下記サポートサイトからご確認いただけます。

<https://www.hoshunet.jp/nyc/MicroServer2/>

ユーザー名 : microserver2id

パスワード : microserver2pass



# NAKAYO



## ご利用上の注意（必ずお読みください）

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

おねがい

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



禁止

してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へお申しつけください。
- この装置は、日本国内用に設計されておりますので、海外では使用できません。  
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品および本書の一部または全部の無断改変、無断転載、無断複写を禁止いたします。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など各国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
- 本書に記載の各会社名および各製品名等は、それぞれの会社の商標または登録商標です。なお、本文中には、™、® は明記しておりません。
- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、使用許諾契約の下で弊社にライセンスされています。
- 「NYC Reception」「ナイス レセプション」は、株式会社ナカヨの登録商標です。
- NYC Receptionのアイコンは、株式会社ナカヨの登録商標です。

## ご利用上の注意（必ずお読みください）



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 火災・感電などを防ぐために



禁止

#### ■分解・修理・改造しない。

修理は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

#### ■オプションのACアダプタ以外を使用しない。

#### ■ぬれた手でACアダプタの抜き差しをしない。

#### ■ACアダプタ・各種ケーブルに水をかけたり、ぬらしたりしない。

ぬれた場合は、ACアダプタを抜いて、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

#### ■水がかかる恐れのある場所には設置しない。

本製品を雨水がかかる場所、ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。また、本製品のそばに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。

ぬれた場合は、ACアダプタ・各種ケーブルを抜いて、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。また、各種ケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

#### ■直射日光の当たるところや、暖房設備などの著しく温度が上昇する場所に設置しない。

#### ■調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しない。

#### ■本製品を指定外の置き方や重ね置きにしない。

#### ■本製品の通風孔をふさがない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような設置のしかたはしないでください。

・じゅうたんや布団の上に置く。

・テーブルクロスなどをかける。

・収納棚や本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い狭い場所に置く。

#### ■雷が鳴ったら、本製品やACアダプタ・各種ケーブルに触れない。

#### ■機器内部に金属物や燃えやすいものなどの異物を入れない。

金属物や異物が入った場合は、すぐにACアダプタ・各種ケーブルを抜いて、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

#### ■コネクタを金属物でショートさせない。

#### ■各種ケーブルを破損するようなことをしない。

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねるなど、傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。修理は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

#### ■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V以外で使用しない。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

#### ■本製品を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などの近くに置いたりしない。

#### ■本製品を落としたりするなどの衝撃を与えない。

万一、本製品を破損した場合は、すぐにACアダプタ・各種ケーブルを外し、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にご相談ください。

## ご利用上の注意（必ずお読みください）



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 火災・感電などを防ぐために



■ACアダプタは、根元まで確実に差し込む。

ACアダプタの刃に金属などが触れたり、差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだACアダプタは、使用しないでください。

■ACアダプタのほこりなどは定期的にとる。

ACアダプタにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプタ・各種ケーブルを抜き、乾いた布でふいてください。

■発煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐにACアダプタ・各種ケーブルを抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。使用を中止し、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

■ACアダプタを抜くときは、ACアダプタの本体(金属でない部分)を持って抜く。

ケーブルを持って抜くと、ケーブルの断線による火災・感電・やけどの原因になります。

■工事配線の確認をする際、ACアダプタ等の周辺機器をコンセントから抜く。

感電・故障の原因となります。

#### 事故などを防ぐために



禁止

■高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカ、植え込み型除細動器などの近くに設置や使用をしない。

医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。電子機器や心臓ペースメーカ、植え込み型除細動器などが誤作動するなどの原因となります。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 事故・けが・財産の損害などを防ぐために



禁止

■水平でない場所や振動の激しい場所で使用しない。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所で使用すると、バランスがくずれて倒れたり落下して、けが・破損・故障の原因となることがあります。

■製氷倉庫など、特に温度が下がる場所には設置しない。

性能低下、機能停止により重要な通信ができない恐れがあります。

■壁掛け設置する場合は、ベニヤ板や石膏ボードには取り付けない。

ねじのしまりが弱く、落下によるけが・破損・故障の原因となることがあります。

■設置跡が気になる場所に設置しない。

本製品の底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面がまれに変色する恐れがあります。



■壁掛け設置する場合は、本製品の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置する。

落下して、けが・破損・故障の原因となることがあります。

■長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本製品のACアダプタ・各種ケーブルを抜く。

■オプションのスタンドを間違えないように取り付ける。

本製品のオプションのスタンド(NYC-STAND-MICROSV2)を使用する場合は、設置向きをよく確認して取り付けてください。

## ご利用上の注意（必ずお読みください）

### おねがい

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

#### 設置環境について

- 硫化水素の発生する場所（温泉地など）や塩分の多いところ（海岸など）でお使いのときは、製品の寿命が短くなる場合があります。
- 本製品はBluetoothでの通信を行います。電波に影響を与える金属やコンクリート壁などの近くに設置すると通信障害を起こすことがありますので避けてください。

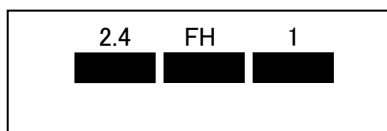
#### 設置後の扱いについて

- 本製品に接続した各種ケーブルを踏みつけたり、強い力で引っ張ったりしないでください。故障・誤動作の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本製品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本製品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、各種ケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 本製品に水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください。水滴がついたまま使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本製品の動作中に各種ケーブルが外れたり、接続が不安定になると故障や誤動作の原因となることがあります。また、動作中は各種ケーブルには触れないでください。
- 本製品に各種ケーブルを接続する際、方向を確認して接続してください。無理やり接続しようとすると故障の原因になる場合があります。
- 本製品にマイク機器、スピーカ機器を接続したハンズフリー通話でお話しのときは、以下の点に注意してください。マイク機器の近くには、ものなどを置かないでください。スピーカ機器は、マイク機器の斜め後ろ約30cmを目安として設置してください。ハウリングによりスピーカ機器から「ピー」と鳴ることがあります。

## ワイヤレス機器使用上の注意

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、電波の発射を停止した上、混信回避の処置等（例えば、パーティションの設置など）を行ってください。
  - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、お困りのことが起きた場合には、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 本製品は日本国内用に設計されています。海外では使用できません。
  - 次の場所では、電波の反射または干渉により通信ができない場合があります。
    - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジの近くなど）。
    - ・金属の壁（金属補強材を埋め込んだコンクリートも含む）の部屋。
    - ・異なる階の部屋同士。
  - 本製品を、テレビやラジオ、コードレス電話機などの近くで使用すると影響を与える場合があります。
  - 周囲の電波状況によっては、本製品の動作に影響が出る場合があります。
  - 本製品に内蔵の無線モジュールは、技術基準適合証明を受けています。本製品の分解・改造を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品は2.4GHz全帯域を使用する設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は10mです。



- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示します。
- FH : 変調方式を示します。
- 1 : 想定される与干渉距離（10m）を示します。
- ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能であることを示します。

---

---

## 目次

---

---

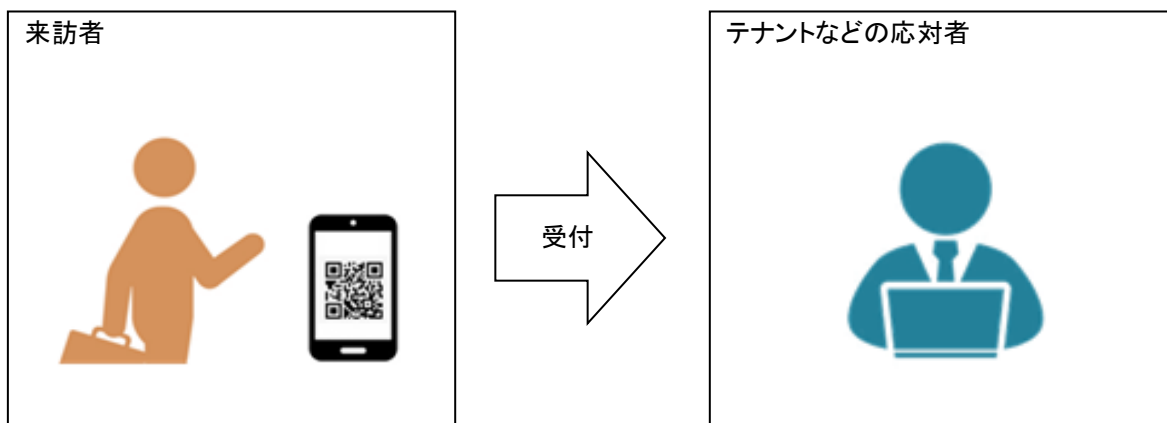
ご利用上の注意(必ずお読みください) .....	1
目次 .....	5
ご利用の前に(主な特長) .....	6
ご利用の前に(主な特長)～iPadで二次元コードを使用しない場合～ .....	7
ご利用の前に(主な特長)～iPadで二次元コードを使用する場合～ .....	8
ご利用の前に(主な特長)～NYC-MICROSV2-LANで二次元コードを使用しない場合～ .....	9
ご利用の前に(主な特長)～NYC-MICROSV2-LANで二次元コードを使用する場合～ .....	10
ご利用の前に(付属品確認) .....	11
各部の名称と説明 .....	12
本製品の設置について(スタンド).....	15
本製品の設置について(カバー).....	15
Bluetooth接続方法について.....	16
本製品の仕様について.....	17
本製品の廃棄について.....	18
保証書.....	19

## ご利用の前に（主な特長）

本製品は、弊社で開発した受付アプリケーションをインストールした機器と接続して利用します。

接続例をご確認のうえ、ご利用シーンに応じる構成を選択してください。

接続例	ご利用シーン	来訪者の受付方法	エレベーターや自動ドアの制御	備考
接続例1-1 接続例1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付を希望する来訪者を迎える機器がiPadで、二次元コードを使用しないシンプルな構成の受付システムです。</li> <li>●来訪者によるiPadの操作で受付操作をして、対応者側の電話機を呼び出します。</li> </ul>	iPadの画面をタッチ操作する。	使用しない (使用不可)	本書P7をご確認ください。
接続例2-1 接続例2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付を希望する来訪者を迎える機器がiPadで、二次元コードを使用する便利な構成の受付システムです。</li> <li>●テナントなどの対応者側であらかじめ二次元コードを発行し、来訪者による二次元コードをかざすことで受付して、対応者側の電話機を呼び出します。</li> </ul>	iPadのカメラに二次元コードを読み込ませる。	使用しない (使用不可)	本書P8をご確認ください。
接続例3-1 接続例3-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付を希望する来訪者を迎える機器がタッチパネルディスプレイで、二次元コードを使用しないシンプルな構成の受付システムです。</li> <li>来訪者によるタッチパネルディスプレイの操作で受付操作をして、対応者側の電話機を呼び出します。</li> </ul>	タッチパネルディスプレイをタッチ操作する。	使用しない (使用不可)	本書P9をご確認ください。
接続例4-1 接続例4-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付を希望する来訪者を迎える機器がタッチパネルディスプレイで、二次元コードを使用する便利な構成の受付システムです。</li> <li>●テナントなどの対応者側であらかじめ二次元コードを発行し、来訪者による二次元コードをかざすことで受付して、対応者側の電話機を呼び出します。</li> </ul>	二次元コードリーダーに二次元コードを読み込ませる。	使用する/しない (使用可能)	本書P10をご確認ください。



### ⚠ 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

### お知らせ

- 詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。



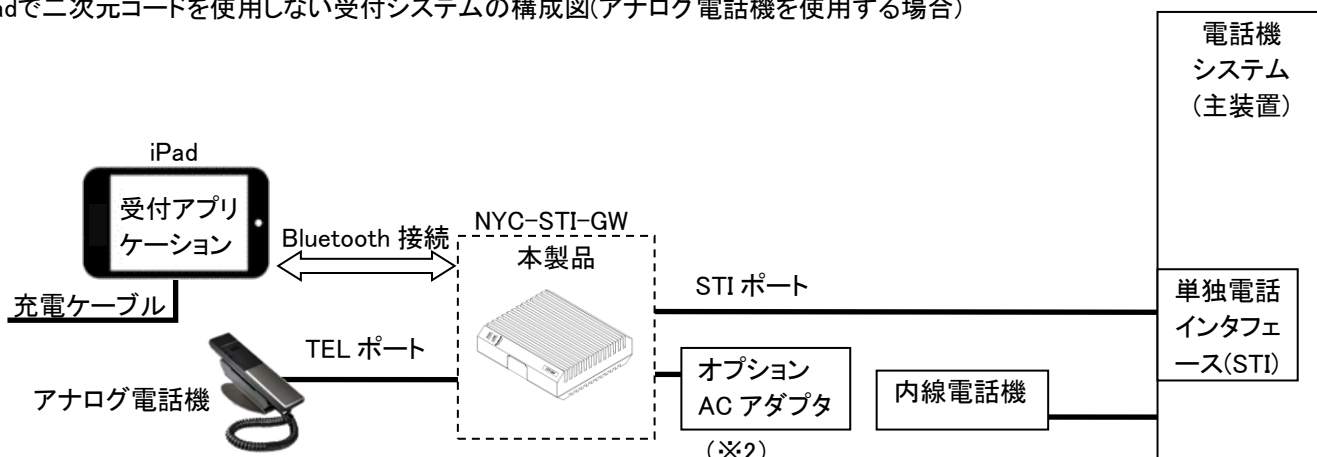
## ご利用の前に（主な特長）

### ～iPadで二次元コードを使用しない場合～

利用例	備考
<b>■iPad用受付アプリケーションとの利用例</b> 本製品は、iPadとBluetooth接続して利用します。iPad用受付アプリケーションから発信先電話番号を取得し、STIポートの接続先に発信を行います。発信は、PB発信、DP発信が選択可能です。 なお、本製品に接続のアナログ電話機で、STIポート接続先への発信/着信/通話をすることができますが、アナログ電話機を使用しない場合、主装置からの着信に応答することはできません。	(※1)

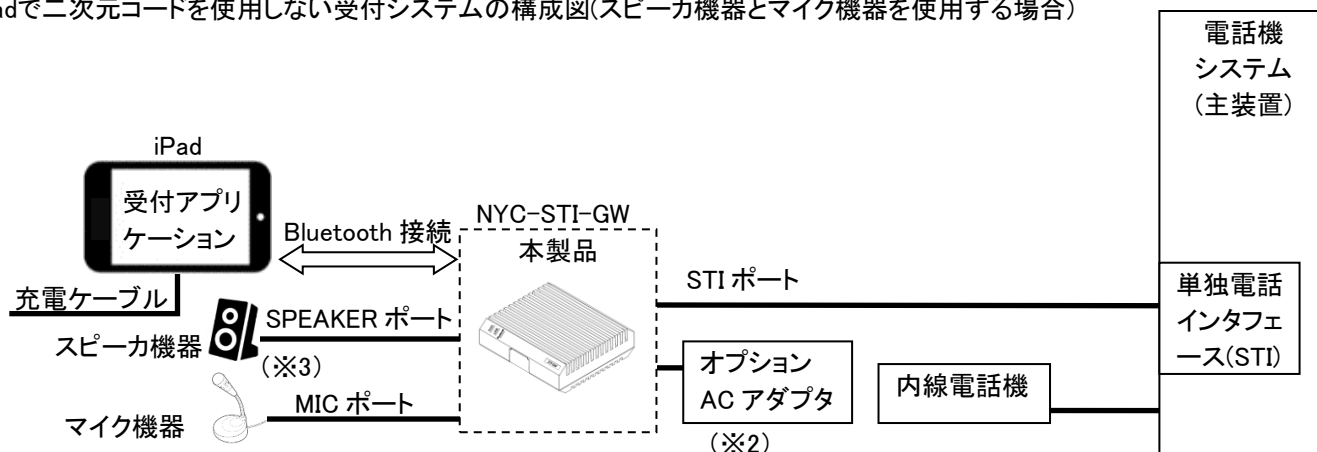
#### (1)接続例1-1

iPadで二次元コードを使用しない受付システムの構成図(アナログ電話機を使用する場合)



#### (2)接続例1-2

iPadで二次元コードを使用しない受付システムの構成図(スピーカ機器とマイク機器を使用する場合)



#### 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

#### おねがい

- (※2)本製品は給電ためのACアダプタがオプションとなっており、付属はしていません。iPadをご利用の場合は、オプションACアダプタを購入してください。
- (※3)スピーカ機器は、マイク機器の斜め後ろ約30cmを目安として設置してください。ハウリングによりスピーカから「ピー」と鳴ることがあります。
- 本製品を設置する場所は、iPadを設置する場所から半径約5m以内にするを推奨します。

#### おしらせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

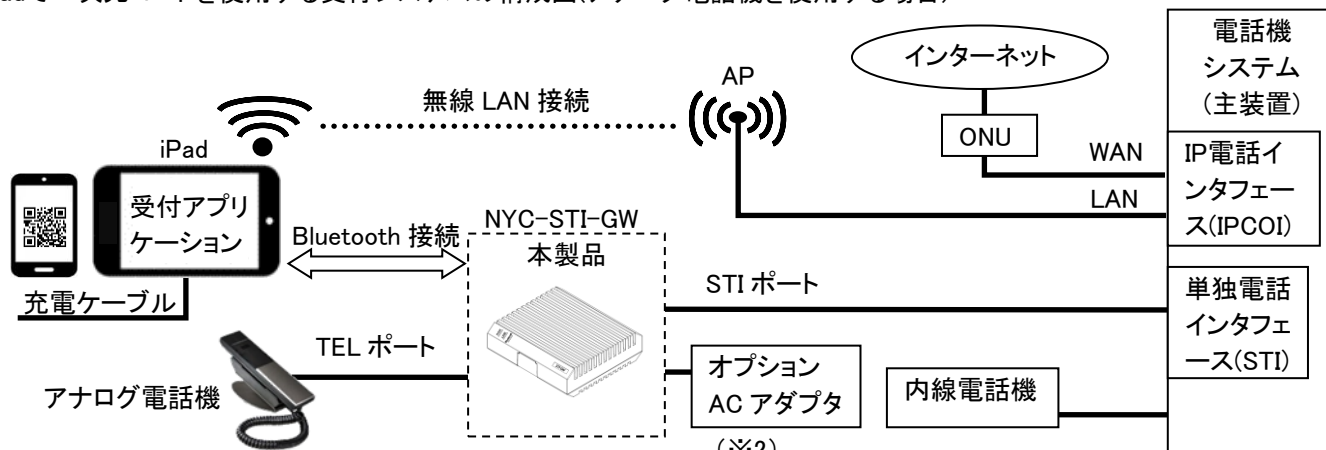
## ご利用の前に（主な特長）

### ～iPadで二次元コードを使用する場合～

利用例	備考
<p>■iPad用受付アプリケーションとの利用例</p> <p>本製品は、iPadとBluetooth接続して利用します。iPadのカメラで読み込んだ二次元コードをインターネット上の二次元コード発行システムと照合した後、二次元コード内に含まれる発信先電話番号をiPad用受付アプリケーションから取得し、STIポートの接続先に発信を行います。発信は、PB発信、DP発信が選択可能です。</p> <p>なお、本製品に接続のアナログ電話機で、STIポート接続先への発信/着信/通話をすることができますが、アナログ電話機を使用しない場合、主装置からの着信に応答することはできません。</p>	(※1)

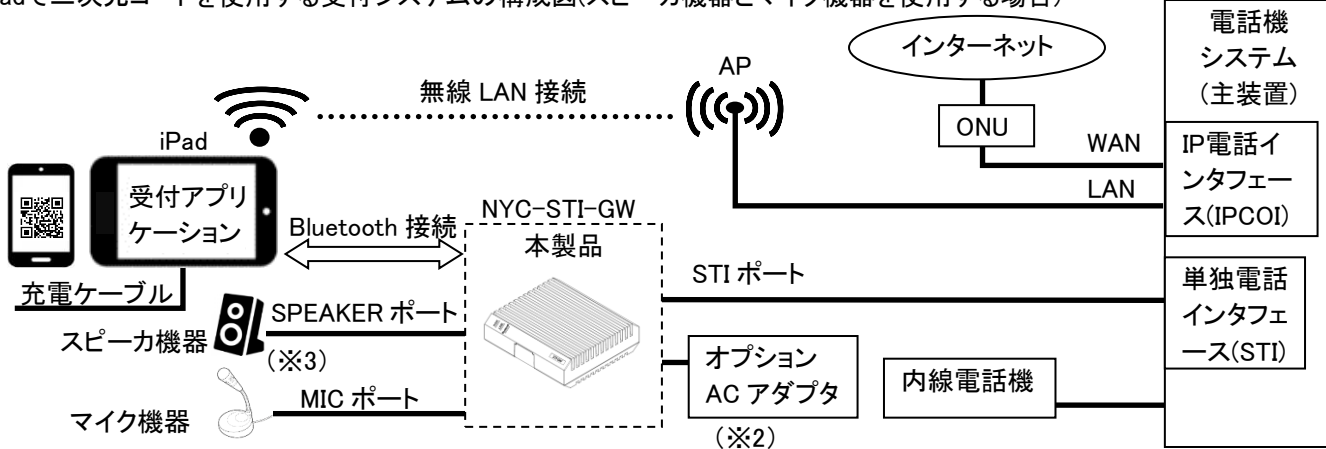
#### (3)接続例2-1

iPadで二次元コードを使用する受付システムの構成図(アナログ電話機を使用する場合)



#### (4)接続例2-2

iPadで二次元コードを使用する受付システムの構成図(スピーカ機器とマイク機器を使用する場合)



#### 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

#### おねがい

- (※2)本製品は給電ためのACアダプタがオプションとなっており、付属はしていません。iPadをご利用の場合は、オプションACアダプタを購入してください。
- (※3)スピーカ機器は、マイク機器の斜め後ろ約30cmを目安として設置してください。ハウリングによりスピーカから「ピー」と鳴ることがあります。
- 本製品を設置する場所は、iPadを設置する場所から半径約5m以内にするを推奨します。

#### お知らせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

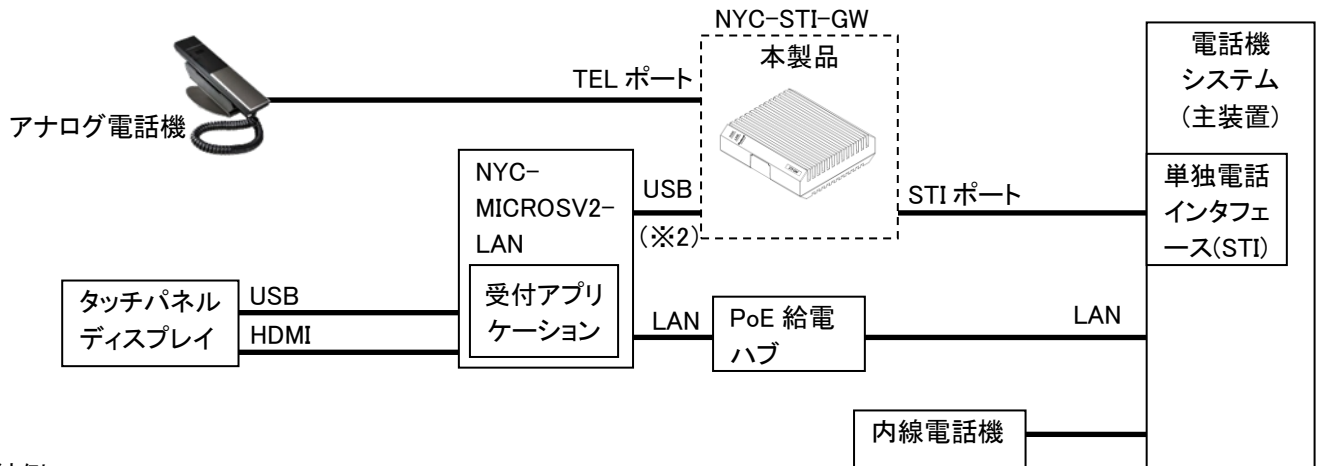
## ご利用の前に（主な特長）

### ～NYC-MICROSV2-LANで二次元コードを使用しない場合～

利用例	備考
<p>■NYC-MICROSV2-LAN用受付アプリケーションとの利用例</p> <p>本製品は、NYC-MICROSV2-LANとUSB接続して利用します。タッチパネルディスプレイによる受付操作を基に、NYC-MICROSV2-LAN用受付アプリケーションが本製品に発信先電話番号を送信し、STIポートの接続先に発信を行います。発信は、PB発信、DP発信が選択可能です。</p> <p>なお、本製品に接続のアナログ電話機で、STIポート接続先への発信/着信/通話をすることができますが、アナログ電話機を使用しない場合、主装置からの着信に应答することはできません。</p>	(※1)

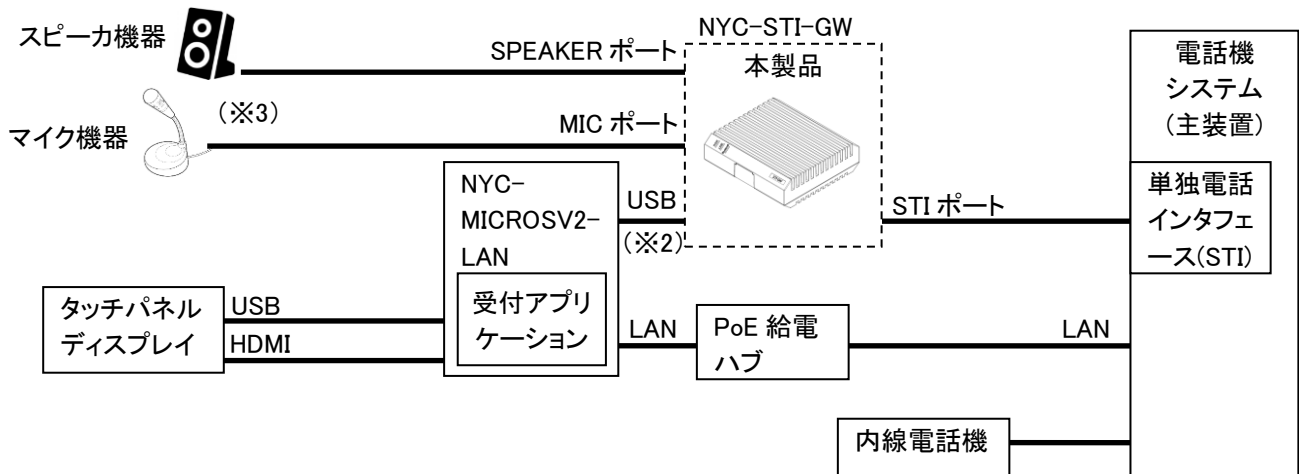
#### (5)接続例3-1

NYC-MICROSV2-LANで二次元コードを使用しない受付システムの構成図(アナログ電話機を使用する場合)



#### (6)接続例3-2

NYC-MICROSV2-LANで二次元コードを使用しない受付システムの構成図(スピーカ機器とマイク機器を使用する場合)



#### ⚠ 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

#### おねがい

- (※2)本製品への給電は、NYC-MICROSV2-LANと付属のUSBケーブルで接続することで給電可能となります。
- (※3)スピーカ機器は、マイク機器の斜め後ろ約30cmを目安として設置してください。ハウリングによりスピーカから「ピー」と鳴ることがあります。

#### お知らせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認ください。
- 本製品以外の機器に関する詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

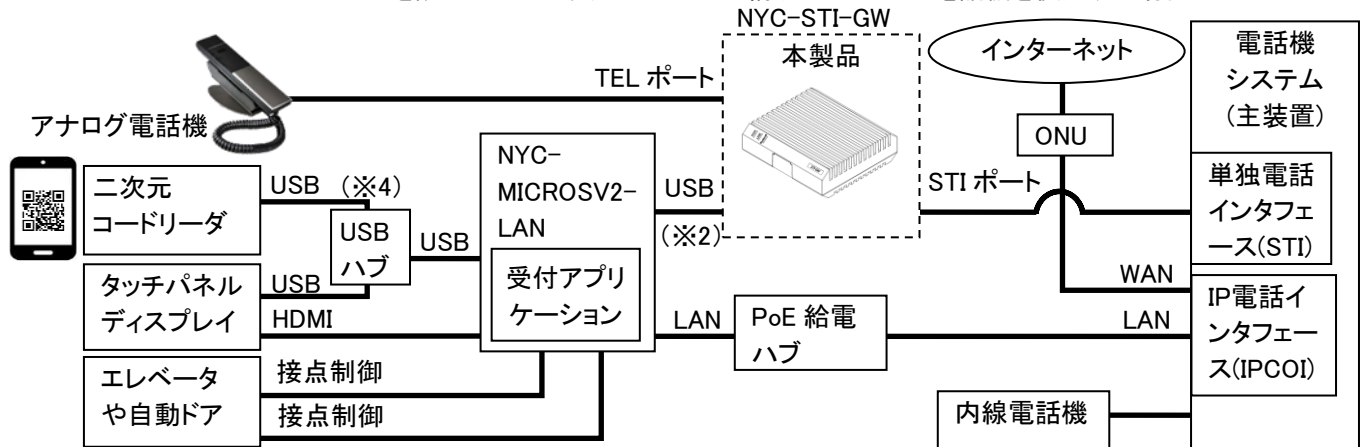
## ご利用の前に（主な特長）

### ～NYC-MICROSV2-LANで二次元コードを使用する場合～

利用例	備考
<p>■NYC-MICROSV2-LAN用受付アプリケーションとの利用例</p> <p>本製品は、NYC-MICROSV2-LANとUSB接続して利用します。二次元コードリーダで読み込んだ二次元コードをインターネット上の二次元コード発行システムと照合した後、二次元コード内に含まれる発信先電話番号をNYC-MICROSV2-LAN用受付アプリケーションが本製品に送信し、STIポートの接続先に発信を行います。発信は、PB発信、DP発信が選択可能です。</p> <p>なお、本製品に接続のアナログ電話機で、STIポート接続先への発信/着信/通話をすることができますが、アナログ電話機を使用しない場合、主装置からの着信に応答することはできません。</p>	(※1)

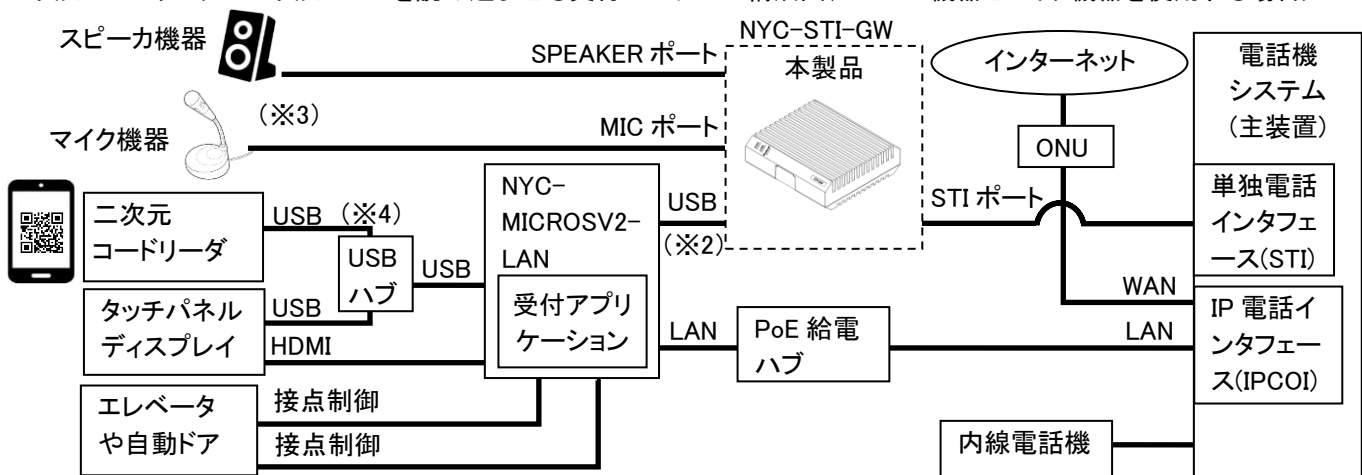
#### (7)接続例4-1

二次元コードリーダで二次元コードを読み込ませる受付システムの構成図(アナログ電話機を使用する場合)



#### (8)接続例4-2

二次元コードリーダで二次元コードを読み込ませる受付システムの構成図(スピーカ機器とマイク機器を使用する場合)



#### 警告

- 本製品及び各機器は、エントランスなど施設の入り口付近に設置する場合でも、雨水がかかる恐れがある場所には設置しないでください。火災・故障の原因となります。

#### おねがい

- (※2)本製品への給電は、NYC-MICROSV2-LANと付属のUSBケーブルで接続することで給電可能となります。
- (※3)スピーカ機器は、マイク機器の斜め後ろ約30cmを目安として設置してください。ハウリングによりスピーカから「ピー」と鳴ることがあります。
- (※4)二次元コードリーダは、USBハブ(セルフパワータイプ)に接続してください。

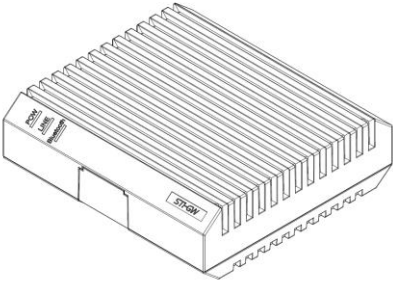
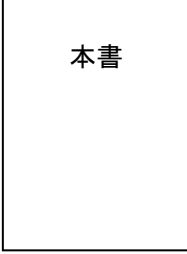

#### おしらせ

- (※1)詳しくは、お買い求めの販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にお問い合わせください。
- 本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- 本製品以外の機器に関する詳細は、各機器の説明書をご覧ください。

## ご利用の前に（付属品確認）

次のものがそろっているか確認してください。

● NYC-STI-GW

NYC-STI-GW [1台]	はじめにお読みください [1部] ※本書
	
USB ケーブル [1本] 長さ 1.5m	以下余白
	

### 別売品(オプション機器)について

別売品として以下の製品を用意しています。

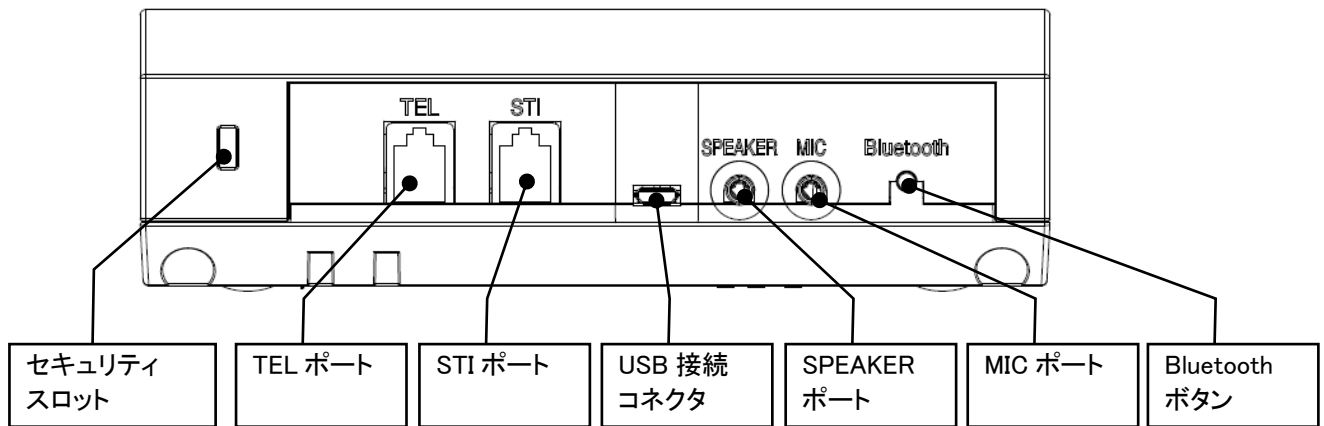
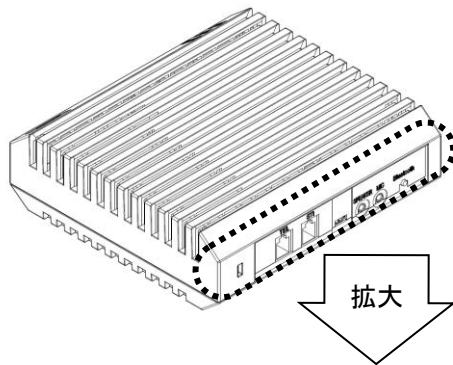
名称	説明	品名	数量
オプションACアダプタ	本製品に付属のUSBケーブルを接続して、本製品に給電します。(※1)	NYC-CHGADPA	1個
オプションスタンド	縦置き設置時に使用するスタンドです。	NYC-STAND-MICROSV2	1個

#### おねがい

- (※1)本製品は給電のためのACアダプタがオプションとなっており、付属はしていません。iPadをご利用の場合は、オプションACアダプタを購入してください。

## 各部の名称と説明

### ●各部の名称と説明



各部の名称	説明
セキュリティスロット	盗難防止用としてご使用ください。(スロットサイズ:3mm×7mm)
TELポート	アナログ電話機(直流抵抗300Ω以下)を接続します。(※1)
STIポート	主装置の単独電話インタフェースに接続します。(※2)
USB接続コネクタ	本製品に付属のUSBケーブルをオプションACアダプタ(※3)またはNYC-MICROSV2-LAN(※3)に接続することで受電が開始され、本製品は起動します。 NYC-MICROSV2-LANに接続時は、受電のほかに発信先等のデータ通信も行われます。
SPEAKERポート	Φ3.5ミニピンジャックのスピーカを接続します。(※3)
MICポート	Φ3.5ミニピンジャックのマイクを接続します。(※3)
Bluetoothボタン	Bluetooth接続するときに使用します。(※4) 操作方法は本書の「Bluetooth接続方法について」を参照してください。

#### ⚠ 注意

- STIポートを電話機システム(主装置)の単独電話インタフェース以外に接続しないでください。誤った接続を行うと本製品内部のヒューズが切れて、STIポートが使用できなくなります。
- STIポートは、電気通信事業者の加入者回線に接続することはできませんので、ご注意ください。

#### おねがい

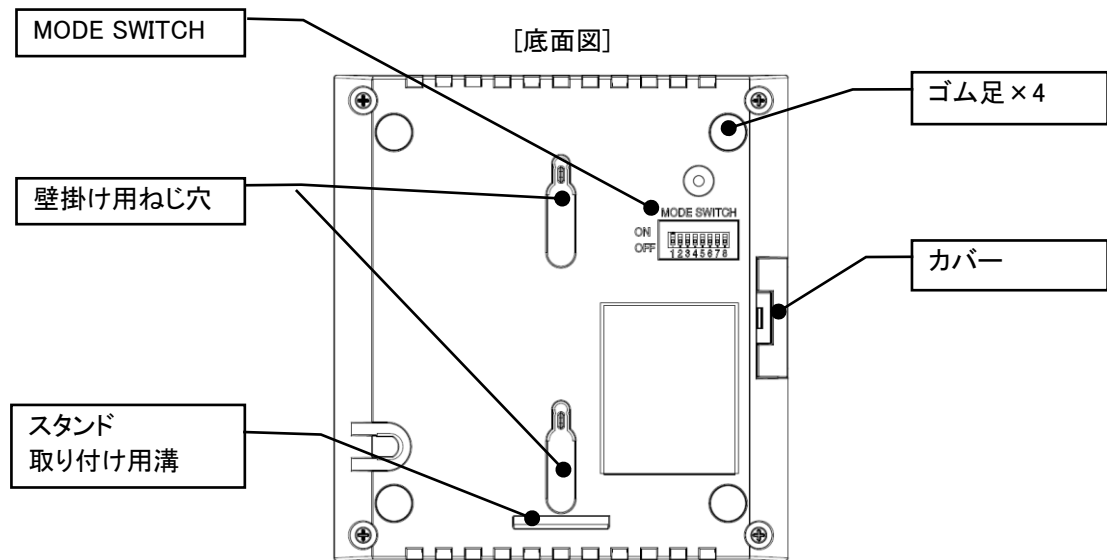
- (※1)直流抵抗が300Ωを超えるアナログ電話機をご利用される場合は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。
- (※2)本製品は供給電流が20mA～40mAの電話機システム(主装置)に接続してください。供給電流については電話機システム(主装置)の仕様をご確認ください。なお、弊社の単独電話インタフェース(STI)は、供給電流20mA～40mAに適合しています。

#### おしらせ

- (※3)本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- (※4)本製品をNYC-MICROSV2-LANに接続する場合、本製品のMODE SWITCHの1をOFF側の状態(工場出荷時)でお使いください。NYC-MICROSV2-LAN接続時にはBluetooth接続・通信は行いません。

## 各部の名称と説明

### ●各部の名称と説明



各部の名称	説明
MODE SWITCH (※1)	本製品の初期化や設定を変更します。先端の細いもので操作してください。
	1: USB接続/Bluetooth接続切替に使用します。 ON: Bluetooth接続時に使用します。(iPadなど) OFF: Bluetooth機能を使用しないUSBポート接続時に使用します。(NYC-MICROSV2-LANなど)
	2: STIポートの回線種別(PB/DP)設定に使用します。 ON: DP回線接続時に使用します。 OFF: PB回線接続時に使用します。
	3~4: 本製品を利用時はOFF側で使用してください。
	5: 本製品の設定値を初期化する際に使用します。 ON: 本製品起動時、本製品の設定値等を初期化します。 OFF: 通常時
	6: ダイヤル送出处から一定時間経過しても呼出音(トゥルルル)が検出できなかった場合、既に相手応答したとみなし、強制的に通話状態に移行する機能を有効/無効にする際に使用します。 ON: 強制的に通話状態に移行します。 OFF: 強制的に通話状態に移行しません。
	7: スピーカ機器とマイク機器での通話を一定時間で強制的に終話する機能を有効/無効にする際に使用します。 ON: 強制的に終話しません。 OFF: 強制的に終話します。
	8: 本製品を利用時はOFF側で使用してください。
壁掛け用ねじ穴	本製品を壁掛け設置する際に使用します。
スタンド取り付け用溝	オプションのスタンドを取り付けする際に使用します。
ゴム足	本製品が滑らないようにします。
カバー	本製品では使用しませんので外さないでください。

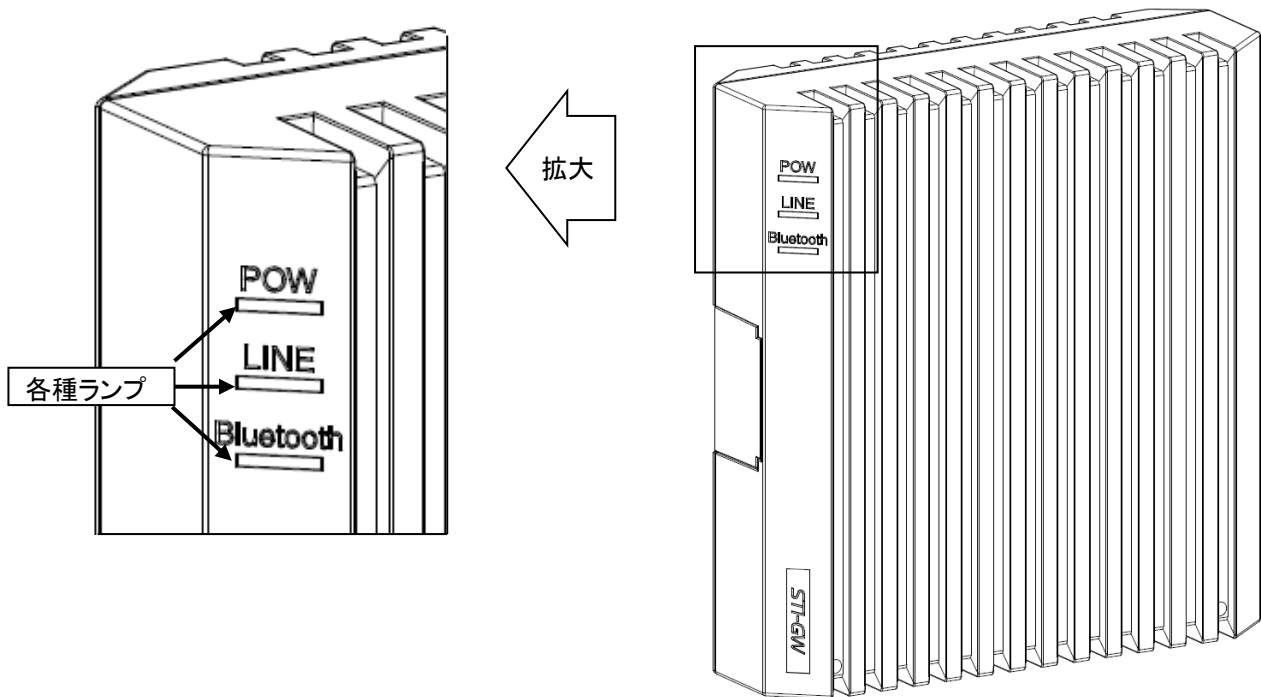
(※1) 工場出荷時のMODE SWITCHはすべてOFFになっています。

### お知らせ

- 以下の内容については、本製品のサポートサイトの「NYC-STI-GW工事説明書」からご確認いただけます。
  - ・MODE SWITCHの機能詳細
  - ・壁掛け設置

## 各部の名称と説明

### ●ランプ表示の説明



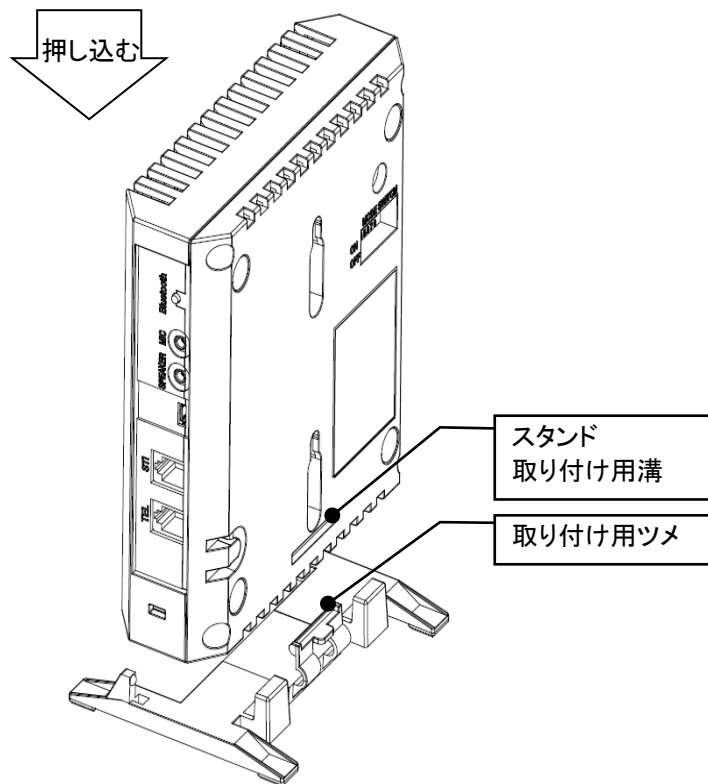
ランプ名称	色	表示パターン	状態
POWランプ	緑	消灯	電源未供給
		点灯	電源供給中
LINEランプ	緑	消灯	本製品に接続された主装置の単独電話インタフェースが未使用 (オンフック中)
		点灯	本製品に接続された主装置の単独電話インタフェースが使用中 (オフフック中)
Bluetoothランプ	青	消灯	Bluetooth未使用
		点滅	Bluetooth検索中 (ペアリングモード)
		周期的に2回点滅	Bluetooth接続中
		遅い点滅	Bluetooth圏外(未接続)



## 本製品の設置について(スタンド)

### ●オプションスタンドの取付方法

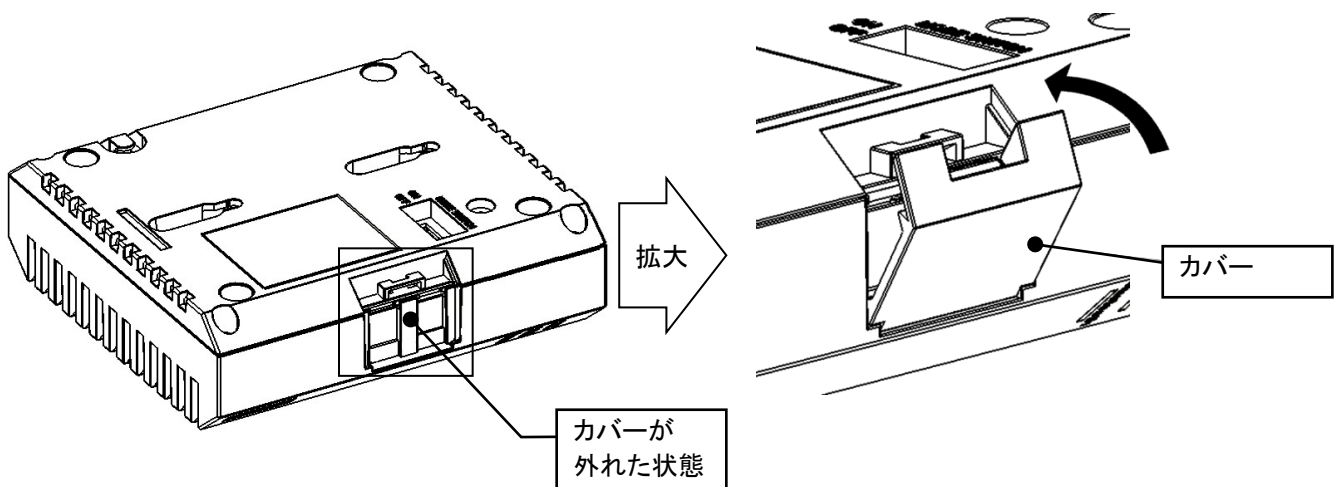
オプションスタンドの取り付け用ツメを本製品のスタンド取り付け用溝の位置に合わせて、本製品を上から押し込みます。



## 本製品の設置について(カバー)

### ●カバーの取付方法

落下するなど本製品に強い衝撃が与えられると、カバーが外れる場合があります。  
外れてしまったカバーの取付方法は、カバーを筐体に斜めに差し込み、「カチッ」と音が鳴るまで戻します。



## Bluetooth接続方法について

### ●Bluetooth機能を有効にする

本製品のMODE SWITCHの1をON側にして電源を入れます。

### ●Bluetoothペアリング(登録)する

Bluetoothペアリング(登録)するためには、本製品をペアリングモードにして、接続する機器とペアリング操作をする必要があります。

接続する機器の操作方法については、機器のマニュアル等をご確認ください。

#### 【Bluetoothペアリング 操作手順】

手順① 本製品の電源を入れます。

手順② 本製品のBluetoothボタンを長押し(2秒以上)し、本製品をペアリングモードにします。  
(Bluetoothランプ点滅)

手順③ お使いの接続機器のBluetooth機能で本製品のデバイス名(※)を検索表示して接続します。  
※本製品のデバイス名は「STI-GW」です。

手順④ ペアリングが完了すると、接続する機器と接続されます。  
(Bluetoothランプ周期的に2回点滅)

### ●Bluetooth接続する

ペアリング操作は、最初の1回のみ行います。

ペアリング(登録)後の接続はお使いの機器で接続操作を行ってください。

#### 【Bluetooth接続 操作手順】

手順① 本製品の電源を入れます。

手順② お使いの接続機器のBluetooth機能で本製品のデバイス名を検索表示して接続します。  
(Bluetoothランプ周期的に2回点滅)

### ●Bluetooth切断する

Bluetoothの切断については、接続機器から切断操作をするか、本製品の電源をOFFしてください。

お使いの接続機器の操作方法については、機器のマニュアル等をご確認ください。

#### 【Bluetooth切断 操作手順】

手順① お使いの接続機器のBluetooth機能で本製品のデバイス名を表示して切断操作をします。  
(Bluetoothランプ遅い点滅)

#### ⚠ 注意

- 本製品は接続された機器から見通しで約10m(一般使用で約5m)以上離れると圏外となります。  
(Bluetoothランプは遅い点滅になります。)
- お使いの接続機器からBluetoothペアリングや接続できない場合、圏外から復帰しても再接続できない場合などは、お使いの接続機器のBluetooth機能で本製品の登録を削除して、再度ペアリング操作や接続操作を行ってください。
- 停電が発生した後は、自動的にBluetooth接続しない場合があります。停電後、Bluetooth接続しているか確認してください。

#### お知らせ

- Bluetoothペアリング(登録)をすると、本製品に内蔵の無線モジュールにペアリング情報が保存されますが、本製品のMODE SWITCHによる初期化では、ペアリング情報は初期化されません。  
Bluetoothボタン長押しで本製品のペアリング情報を削除することができます。(接続する機器での操作は不要です。)

## 本製品の仕様について

項目	仕様	備考	
TELポート	RJ11コネクタ	(※1)アナログ電話機(直流抵抗300Ω以下)を接続	
STIポート	RJ11コネクタ	(※2)主装置の単独電話インタフェースと接続	
通信インタフェース	USB	USB2.0	—
	Bluetooth	Bluetooth Version: 5.0準拠 接続台数: 1台 伝送距離: 最大約10m(障害物がない場合) ※一般利用で約5mが利用可能な範囲です。 対応プロファイル: GATT	Bluetooth Low Energy
SPEAKERポート	Φ3.5ミニピンジャック モノラル出力 出カインピーダンス: 600Ω	(※3)	
MICポート	Φ3.5ミニピンジャック モノラル入力 入カインピーダンス: 2KΩ	(※3)	
ランプ	POWランプ	緑色LED	—
	LINEランプ	緑色LED	—
	Bluetoothランプ	青色LED	—
Bluetoothボタン	ボタン	Bluetooth接続用	
MODE SWITCH	1: USB/Bluetooth接続切替スイッチ 2: PB/DP切替スイッチ 3: 未使用 4: 未使用 5: 初期化スイッチ 6: 監視タイマ設定スイッチ 7: 通話継続設定スイッチ 8: 未使用	(※4)	
電源	オプションACアダプタ	(※3) 入力電圧: AC100V 入力周波数: 50/60Hz 出力電圧: DC5.0V 出力電流: DC500mA	
消費電力	約2.5W	—	
外形寸法	約165(W) × 約155(D) × 約51(H)mm	ゴム足含む	
重量	約380g	—	
使用環境	温度0 ~ 40°C 湿度20 ~ 85% (結露なきこと)	—	

### おねがい

- (※1)直流抵抗が300Ωを超えるアナログ電話機をご利用される場合は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。
- (※2)本製品は供給電流が20mA~40mAの電話機システム(主装置)に接続してください。供給電流については電話機システム(主装置)の仕様をご確認ください。なお、弊社の単独電話インタフェース(STI)は、供給電流20mA~40mAに適合しています。

### おしらせ

- (※3)本製品以外の機器に関する情報は、本製品のサポートサイトからご確認いただけます。
- (※4)MODE SWITCHの詳細については、本製品のサポートサイトの「NYC-STI-GW工事説明書」からご確認いただけます。

## 本製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、産業廃棄物扱いとなります。

各自治体の指示(地域の条例など)に従って廃棄してください。

# 保証書

## ●保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては保証書の内容にもとづき無料で修理いたします。  
保証書は大切に保管してください。

## 保証書

# NAKAYO

品名 NYC-STI-GW

製造番号

保証期間 お引き渡しの日より1年間

お引き渡しの日

年 月 日

お客様 ご住所 〒

電話 ( )

ご芳名

販売店名・住所

# 見本

1. 本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
2. 保証期間中に故障した場合には、お買い求めの販売店にお申し出ください。お引き渡しの年月日・販売店名などの記入もれがありますと無効となります。ご確認いただき、記入のない場合には直ちに買い求めの販売店にお申し出ください。
3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 無料修理規定

1. お客様の正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い求めの販売店にお申し出のうえ、修理の際に本書をご提示ください。なお、故障の内容によっては修理にかえ同等品と交換させていただくことがあります。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - (1) 本書のご提示がない場合。
  - (2) 本書にお引き渡し年月日・お客様名・販売店の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。
  - (3) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
  - (4) お引き渡し後の取付場所の移動、落下などによる故障・損傷。
  - (5) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変などの外部に原因がある故障・損傷。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

年月日	修理者	ご確認	修理メモ

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、ご不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 株式会社ナカヨ



\* 923753A3 \*